

## 会議録

### ぎふ清流国体恵那市実行委員会 第5回総務・広報・市民運動専門委員会

日 時 平成23年 3月16日 (月)

10時00分 開会

場 所 恵那市防災センター

3階 研修室

## 1 開 会

### ○事務局

第5回総務・広報・市民運動専門委員会を始めさせていただきます。

東日本では大変な地震が起きまして、災害被害のことをございますけれども、いろいろ情報が入ってくることによりまして、本当に大変な災害になってしまったというようなことでして、心を痛めてお見舞い申し上げたいと思います。

それでは、開会いたします。

会に先立ちまして、委員長さん、あいさつを一言お願いします。

## 2 あいさつ

### ○市川委員長

おはようございます。

第5回の委員会にご参集いただきましてありがとうございます。

今、冒頭の司会のほうからも話がありましたように、皆様ご案内のように、東北地域におきましては、巨大な地震帯で多くの人命が失われようといたしておりますし、大変な損害が発生をいたしております。

この場で、あいさつにはふさわしくありませんが、私ども住民の組織といたしましては、自治連合会とそして地域協議会の2団体で、それぞれ役員持ち回りをしながら、当面市民の皆様方に自治会を通じて義援金の呼びかけをいたそうということで、近々自治会長さんの手を煩わせながら、各自治会に回覧板を回しながら、住民に11の事務所におきましては、それぞれの事務所に義援金箱が用意をされているということ。そして、大井と長島におきましては、市役所本庁舎において義援金箱が設置をされているということ。さらに、日本赤十字社岐阜支部におきましては、古田知事を初めとするところの銀行振り込みについての義援金の支援について。この2つについて、お願いをしようということで取り組まさせていただきますいております。

私どもは、こうした外側からこういう復興のための支援をするのか、あるいはまた他山の石とせず、私たちはこの災害を見て、自ら自分たちではどういうふうな守り方をするのか。今までのように、来るか来ないかわからないようなことを前提とした災害のただのとらえ方をしてきましたが、具体的な今後、そういった取り組みをしていく時期が来ているというふうに直感をいたしております。

そういうさなかで、6月の弓道のリハーサル大会なり、明年の国体についての第5回の総務委員会でさまざまなご提案を申し上げますけれども、最後までご審議賜ることをお願い申し上げます、冒頭の委員長のあいさつとさせていただきます。

きょうはどうも御苦労さまです。

#### ○事務局

ありがとうございました。

それでは、本日の会議の成立の報告をさせていただきます。

委員総数32名、重複が2名ございますので、30名でございます。そして本日の出席20名、委任状が6でございますので、専門委員会規程第4条第2項の規定によりまして、過半数の出席がありますので、本日の会議が成立することをご報告させていただきます。

報告事項、協議事項につきましては、委員長の進行でよろしくお願ひしたいと思ひますけれども、一つ皆様にお願ひがござひます。議事録作成のために録音をさせていただきますので、ご発言はマイクをお持ちになってよろしくお願ひしたいと思ひます。

それでは、市川さん、よろしくお願ひいたします。

#### ○市川委員長

それでは、私どものほうで進めさせていただきますが、まず第1は、報告事項が3件ございますので、順次事務局のほうから報告を願ひます。

### 3 報告事項

#### ○事務局

それでは、説明させていただきます。座ったまま失礼いたします。

1ページめくっていただきまして、ページ番号1のほうの資料をごらんいただきたいと思ひます。

委員の変更についてということで、各組織の役員変更に伴ひまして委員が変更になりましたので、次のとおりご報告させていただきます。

恵那市議会の総務文教委員長 勝滋幸にかわりまして鶴飼信幸さん、よろしくお願ひいたします。それから、恵那青年会議所理事長 安藤潤成さんにかわりまして板頭拓志さん、よろしくお願ひいたします。

このお二方につきましては委嘱状のほうを発行させていただきますまして、鶴飼さんにつきましては、先の弓道専門委員会のほうでお渡しさせていただきますまして、板頭さんにお

かれましては、机の上に配付という形でお渡しさせていただきましたのでよろしくお願いいたします。

また、変更後の名簿を2ページに添付させていただいておりますのでよろしくお願い致します。

以上です。

○市川委員長

今、事務局から委員の変更についてのご報告がありましたが、お二人お見えでございますので、お一人ずつ自己紹介を含めてお願いしたいと思います。

○鶴飼総務文教委員長

皆さんおはようございます。恵那市議会の総務文教委員長の鶴飼でございます。よろしくお願いたします。

本当に今、大震災の中で、テレビでは悲惨なことになっております。当恵那市といたしましても、水道のほうの後方支援ということで、3名ほど給水車を持って宮城県のほうへ行っております。また、ここの消防署員ですが、後方支援ということで2名、福島県の郡山のほうへ行っております。また、16日、きょうからですが、消防車1台を持って5名の隊員が福島へ参るということをお聞きしております。

そんな中ではございますが、元気を取り戻すというようなことで、何とか国体を成功させてみよう、また元気づけるということで、一生懸命やってみりたいと思います。1年よろしくお願いたします。

○板頭青年会議所理事長

社団法人恵那青年会議所理事長の板頭拓志と申します。よろしくお願い致します。

昨年までは安藤が大変お世話になりました。本年1月1日から、私が理事長という形に変わりましたのでよろしくお願い致します。

私たちの団体は、このぎふ清流国体に関しましては非常に興味のある事業でございますので、積極的に取り組んでいきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

○市川委員長

それでは、お二人からそれぞれ自己紹介をいただきましたので宜しくお願致します。

それでは、報告の2に入ります。事務局、お願致します。

○事務局

失礼します。準備室の平林と申します。よろしくお願い致します。

報告2ですが、1月の12から14日にかけて、恵那のスケート場のほうで行いました、ぎふ清流国体スピードスケート競技のリハーサル大会のJOCジュニアオリンピックカップの報告となります。

資料のほうは3ページ目からとなります。3ページ目のまず一番上のほうに写真が載っております。これは、大会の前日、1月11日の日に、恵那峡グランドホテルのほうで行われました開会式の模様です。これにつきましては、スケート場のリンクから駅を通るといようなシャトルバス、選手輸送のバスを出しましたので、想定した以上に、ほとんどの選手が出席していただきました。約350人が参加して盛大に行われました。

このジュニアオリンピックカップというものは、世界ジュニア選手権大会への代表選手の選考会でもあるという形で、非常に競技性が高いという形のものでした。この参加した選手の中には、日本で最難関、最先端のリンクという形で、リンクのコンディションなんかを心配されておりましたが、大会を行いまして、大会の新記録であるとかリンクレコード、新記録が生まれるなど、リンクコンディションとしては好評でございました。

また、学校児童の方に観戦に来ていただきまして、温かい声援を送っていただいたということで、選手としては非常に励まされていい大会であったという報告をいただいております。

この3ページ目の下のほうなんです、一番下のほうに写真がございます。こちらが、交流もてなし広場として、ふるまい汁とかそういったものを設けたところがございます。

競技性が高いということを当初聞きまして、この交流広場の位置にしましても、こちらの音であるとか、そういったものが競技会場のほうに伝わらないようにという形で、このJOCに関しましては、少し離れた位置に設置をしました。そういうために、逆にちょっと離し過ぎているのではないかというようなことも、反省事項、また改善点として上ってきております。

4ページのほうに移りますが、こちらのほうに観戦の様子ですとか、また応援の旗をつくった様子なんかの写真が少し載っております。

この大会を通しまして、今後国体に向けてという形なんです、今の交流広場の位置でありますとか、ふるまい汁の配布方法、また警備のあり方、駅の案内所、シャトルバスの乗り場の位置、そういった多くの改善点も見えてきました。こういったことを改善しながら、国体に向けて準備を進めていきたいと思っております。後ほど協議事項で、皆様方のご意見をいろんな面でお聞かせいただけたらと思っております。

それと、この大会の宿泊の関係ですが、JOCのスピードスケートの大会というものは、基本的に選手がすべて各自で、宿舎、宿を手配して、そこからの競技会場までのルートもすべて選手が行うというものでございます。

そういった形で、後ほど調査させていただきましたところ、恵那市内でいきますと、ルートイン恵那さん、こちらのほうに120人ほど宿泊されております。そのほか市内の駅に近いビジネスホテルということで、プラザホテルさん、シティホテルミチさん、こういったところに35名から40名程度、それぞれ泊ってみえます。そのほか、恵那峡グランドホテルさんであるとか、国際ホテルさん、こういったところもチームとして、かなり泊ってみえました。そのほかは、武並の駅のすぐ近くにありますが旅館で三八屋さんであるとか、またタカミ旅館さん、トウカゴさんなんかに選手が宿泊してみえます。

それと、恵那市外になりますが、中津のほうでは、6チームほど宿泊してみえました。

この大会に関しまして、市内の宿泊なんですけど、400名から430名程度の方が各施設に宿泊をされておりました。

以上、簡単ですが、報告を終わります。

また、後ほど協議事項のほうで皆様のご意見をいろいろお聞かせ願いながら、国体に向けての改善であるとか、そういったことをしていきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

#### ○市川委員長

報告2につきましては、最後につけ加えられましたように、協議事項の中で、皆様方にいろいろとご意見を賜っているのを報告にとどめさせていただきます。

それでは、報告3、恵那市スポーツキャラクターの発表についてお願いいたします。

#### ○事務局

それでは、報告3、恵那市スポーツキャラクター発表について、説明のほうをさせていただきます。

資料の5ページをごらんいただきたいと思います。

この間の日曜日になりますが、3月13日、午後1時30分より開催をしました恵那市スポーツキャラクター発表会表彰式で、恵那市のスポーツキャラクターを発表いたしました。

このキャラクターですけど、別添で皆さんのお手元に配らせていただいておりますけど、総務・広報・市民運動事業計画の中にあります、みんなのスポーツの推進、国体を契

機に生涯スポーツを推進という1枚ものの紙ですね。こちらの中にも書いてありますとおり、スポーツを身近にということで、国体を契機に国体を一過性のイベントに終わらせるのではなく、もっともっとスポーツに親んでもらうきっかけとしてこのキャラクターをつくるということで決まり、その推進をして今回の発表に至ったものであります。

今回、応募したところ189件の応募がありまして、審査員として、この委員会の委員長でもあります市川審査委員長を筆頭に7名の審査員の方に審査をしていただきました。その結果、最優秀賞……今回選ばれた10点を厳選させていただきまして、この入選と別に書いてありますのは審査員特別賞として出したものになりますけど、10点を選んでいただき、またその10点の作品につきまして、市内の小中学生に人気投票というような形で審査をしていただきました。その結果1位になったキャラクターは、ハナッキー&サリーナということで、6ページのほうをごらんいただきたいと思います。

また、正面左手のほうに大きなキャラクターの看板のほうを設置させていただきましたが、こちらのキャラクターですが、恵那市の木のハナノキという、そして、恵那市の花のササユリをモチーフにして生まれたキャラクターということで、どんなキャラクターかということにつきましては6ページに書いてもありますので、また7ページのほうに、昨日3月15日の中日新聞、岐阜新聞の記事のほうも付けさせていただいておりますが、校庭にあるハナノキと学校の裏山にあるササユリの妖精が、子どもたちの運動する姿を見て、世に飛び出てきたというようなストーリーとなっております。

今後、このキャラクターは恵那市のスポーツキャラクターとして、国体が終わっても末永く皆さんに使っていただけるような、そういうキャラとして、これからどんどん活躍していくキャラクターになってくれると信じております。

また、皆さんのお手元にシールのほうを配付させていただきました。一つは、恵那市スポーツキャラクター入賞作品シールということで、このキャラクターが審査員に選んでいただき、そして各賞がつけられた作品一覧になります。また、もう一つが、恵那市スポーツキャラクター、ハナッキー&サリーナということで、いろいろな協議をしているハナッキーとサリーナのカットがついているシールであります。

今後、このカットシールにつきましては、どんどん作成をいたしまして、どんどん皆さんのスポーツをするところにつけて、親しんでいただけるような存在になっていくように進めていきたいと思っております。

報告は以上です。

○市川委員長

ただいまの報告につきまして、何かご質疑等がありましたら。どうですか。よろしいですか。

それでは、報告3件につきましては、終わりたいと思います。

次は、頭の血流をよくするためにミナモ体操ということが書いてありますので、上着を脱いで準備のほうをお願いします。

#### 4 ミナモ体操

○音楽・音声

○市川委員長

ご協力ありがとうございました。

#### 5 競技事項

○市川委員長

それでは、協議事項の中の1番ですが、本年1月の12から始まりましたJOCスケート大会におきまして、それぞれ各分野でご協力いただきましたが、この6月に既に弓道の大会もごございます。来年の本大会も含めながら、皆様方いろいろとご参加をいただく中で、これはこうすればいいのではないかと、いろいろな感じ方をお持ちになっておられると思います。

この委員会といたしましては、いろいろな分野を総合的に提起をいただく委員会ですので、委員長のとらえ方で大変申しわけございませんが、この際、ご意見があればどうぞということではなく、副委員長のほうから順次一人一人にコメントをいただくということ、事務局のほうで集約を図りながら、よりよい次の大会に結びつけていきたいと思っておりますので、ぜひお願いしたいと思います。

それでは、副委員長のほうからお願いします。

○山崎副委員長

小中学校の、当初は中学校のほうもジュニアオリンピックのスケートに来るということでしたが、人数が多過ぎて、小学校に限定させてもらいました。それぞれの小学校から出かけて行ったわけですが、応援はするけども、なかなか岐阜県がどれやわからないとか、簡単な、そういう出てくる選手についての説明があるといいなというのが小中学校の校長

会で話が出てきました。

これから弓道大会とか、またスケート大会、小中の校長会に出ることは全部、平成24年度まで決めています、これを見に行ったときに、少し何か説明があるといいなというように感じを受けています。

以上です。

#### ○委員

私、国体のほうは青森のほうへ行かさせていただきました。ジュニアオリンピックを見て、また国体のほうも行かさせていただきました。やっぱり規模の大きさとか全然違うなという実感がありました。県のほうでも今、大会計画はしておられると思いますが、やっぱり暖をとる場が、今のスケート場にはないかなと。

それと、応援に来て見える方が、外で、それから中でも泊まるというようなところをつくらなきゃなという実感をしたわけでございます。

今、先生に言われたように、子どもの応援は本当に温かいものがありました。本当にありがとうございました。国体もこのようにやっていけるかと思えます。

JOCのもう1個は、炊き出しの方が皆さん、本当に一生懸命やってみえましたが、やはりここでも今、どうしても記録的な大会ということで駐車場の下のほうでやってみえましたが、ちょっとPRが足らなかったんじゃないかということも思いましたので、お願いいたします。

#### ○委員

恵那市の観光協会でございますが、ジュニアオリンピックの販売に私も参加させていただいたわけですが。売店の設置箇所、まず事務局のほうにもいろいろと声があると思いますが、あの場所で果たしてよかったのかどうか。その辺はもう少し選手やあるいは観客の人に向ける場所に設置したらよかったんじゃないかなということです。

それと、フリードリンク無料で出しておられた場所と、武並ハンズのように有料で出しておられるというところの兼ね合い。果たして、片や無料で出して、片や有料で売っておるといふ。これは少し検討の余地があるんじゃないかなと、そんなふうに思いました。

できるだけ、これからは選手あるいは観客・市民にまた利用しやすい場所を設置したらということが大事じゃないかなと、そんな思いがしております。

#### ○青年会議所

恵那青年会議所です。初めてなもので、少し細かい話はわかりませんが、せっかく

ですから恵那市全体の機運が盛り上がり、この大会に臨めれるようなそんな広報が必要ではないかなというふうに感じました。

○委員

私、所用がございまして、どうしても私リハーサルに出てませんもんですから、きょうは皆さん方のお声をいろいろ聞きながら、一生懸命ご協力していきたい、そのように思っていますのでよろしくお願いします。

○委員

岐阜県恵那事務所の加藤と申します。恵那市の事務局さん、及びご関係の皆様には、常に献身的で、すごく情熱的な取り組みをしていただいて非常に感謝しております。市の委員会の立ち上げですとか、市のキャラクターの設定など、非常に県でも独自の取り組みを行われてまして、県庁などでも非常に評価が高いと聞いております。

スケートがまず第1番目に県内で開催となるということで、非常にご負担が重いかと思うんですが、恵那の魅力を広められる絶好の機会だと思いますので、ぜひこの調子でご協力致しますので、よろしくお願いします。

○委員

私は弓道連盟のほうですので、特に競技団体として、全体の感想を言いたいと思います。

スケート大会は、ご承知のように非常に寒い中の大会であるということで、大変だったと思います。

先ほどお話が出ておりましたけども、やはり競技団体は、競技のほうをしっかりとやれば、それでいいとは思いますが、たまたま私も恵那市に住んでいまして、恵那市の考えている理念といいますか、そういうものと競技の方向性というものが、一緒になってやっていくことは非常に大事だと思ってます。ですから、恵那市の実行委員会、協議団体と連絡とかいろんな意見を密にして、こういった大会が進められていくといいと思います。

そして、先ほど来、お話が出ておりましたように、やはり入場から、入場というか、バスを降りてから会場の入り口までの動線のテント村なんかのところで、非常に問題があるかなということで意見をたくさん聞いておりますので、弓道の大会のほうにつきましては、競技は競技として、やはり皆さんが来ていただく中で、来てよかったというような会場づくりが必要かなと、こういうふうに考えております。

○委員

スケート連盟のほうですが、選手に対しての子どもの観戦、私は審判席で審判をやって

おりましたけど、選手への子供の声援が選手の大きな励みになったということです。まず、小中学生にそういう大会を経験してもらうこと。せつかく400メートルのオリンピックのできるような施設が岐阜県の武並にあって、知らない生徒も、まだ来てない他の生徒もいるかと思います。やはり大枚税金を払っておりますので、1日授業を抜いても、何も私は害がないと思います。それよりプラスのほうが多いかと思っております。

それから、先ほどもありましたが、ふれあい広場、これはもうメインに持ってきてもらわないと、入り口におつても何も見えない。看板も見えない。中で話したいと思つても、利用方法が解らない。今回だけはメインの一番いいところでもらえる。競技については、中には入りませんので、そういう方向で、中におる人も張り合いが出てくるかなと思ひます。

それから、リハーサル大会とは言ひましても、今回の地元では最下位ですので、皆、リハーサル、リハーサルと言つてみえますけど、これは本番ですので、そういうものを企画していただくように、親身に計画をしていただきたいと。

とにかく青少年育成のためにも、その施設、冬季、寒いですが、外へ誘導させてもらうということが、これからの若い子どもたちに、何かを方向づけるかと思つておりますので、ぜひ教育委員会は、そういう場へ子どもを連れていっていただけるように努力してもらいたい。以上です。

#### ○委員

学校教育課と申します。JOCの大会当日は、私もずっと終日観覧席におりましたので、そのとき気づいたことをちょっとお話をいたします。

まず、朝8時ごろに子どもたちが集まってくるわけですが、観覧席が凍っていたり、あるいは雪が積もっていたりした状況がありました。大会役員の方やボランティアの方がほうきをかけて、あるいは雑巾がけをしてくださつて、大変ありがたかつたなと思つております。

また、バスの移動につきましても、駐車場での乗降について、大変安全であるかを心配しておつたわけですが、これも大会係員の人たちが誘導してくださりましたので感謝しております。これからも、その点については気をつけていただければと思つております。

教育委員会としましても、子どもたちの応援につきまして努力してまいりますけど、やはり貴重な授業をこちらに回すわけですので、子どもたちにとって本当に有意義な時間であるように、そして学習の成果が目に見えるような形にしていきたいなということをおつて

おります。

以上です。

#### ○委員

皆さんからのご意見が出た件で、同じ思いがするわけですがけれども、一つは今、小学生の子どもたちの声援が非常に印象的で、すごく僕も行って、これはすごいなと感じたわけですけど、本当によかったと思います。

お店の件はやはり、この位置では非常に問題だなと、当日も思いました。何とかもう少し実際に運営していただける方々が、この位置では残念だなという思いがしたのではないかと思いますけども、売り上げがどうのこうのということはありませんけど、まず位置設定として、もう少し来られたお客さんにも簡単に寄っていただけるような場所設定ができればいいかなと思います。

大きなところではそんなところですよ。

#### ○委員

私も初日のほうにずっと見学をさせてもらったんですが、先ほど、冒頭お話がありましたように、まずは、いつだれが滑っておるのか、何をしておるのか、ちょっとスケート競技というものに理解というか予備知識がない者がいきなりあそこへ行って、そういうことが理解できたかなという、私自身、そういう予備知識も全くなかったわけですので、よほど目を凝らしていないと、ただぐるっと一周するだけですから、いつスタートしていつゴールしたのか。また周りも、そのほかのウォーミングアップされている方々も一緒に滑っているような雰囲気に見えまして、その辺の学校の子ども、大勢スタッフみんな応援していましたけれども、そういったところにそういった詳しい解説、そういったものが競技関係者のほうから詳しく説明なんか、子どもたちにはもちろん、また一般の見学に来ておられる方にもされるというと、なお一層、皆さんが理解できたのではないかなというように、まず一番に感じまして、今もバザーのほうにも、バザーどこにあるのかなということで、そしたらチラシと言いますか。それを持ってみえる方が見えて、それを見たら位置が書いてありましたので、そちらのほうに行って、山岡のおばあちゃんという方が皆来ておりましたので、そちらのほう話をしながら、そちらで昼食をいただいたり、ふるまい汁なんかもいただいたわけですが、確かに私もどこにあるのかといったときに探しているような状態もありましたので、そういうようなところも今後改善されればと思いますし、また次は弓道ですか。これもどちらかと言えればいわゆるスポーツとしては個人の競技で、

静かな雰囲気の中で行われる雰囲気ではないかと思imasので、そういったところでも、少し何らかの解説のようなものがあれば、皆さんまたより理解をされるのではないかと、そのようなことも感じましたので、そういうことを思っております。

○委員

この間のスケート大会について生を見させてもらって、非常に感激をしました。やっぱりああいう生で、ああいう競技に見られるというのは、子どもたちにはぜひ見てもらおうというふうに思いましたし、私はサウスのドリンクのほうにおったんですが、位置的にはあそこでいいかなとは思ったんですが、来てみえる方を見ると、やっぱり一般の人が少ないような感じを受けましたので、私も本当は行くつもりはなかったんですが、そういうことで行ったんですけども、もう少しみんなに興味を持ってもらうPRをすべきだというふうに思います。

見て初めてそう感じるんですが、市民一般では、なかなか派手さのないスケートですので、弓道にしても、もう少し市民にPRの方法を、難しいと思うけども、せっかくああいうふうにやれる大会ですので、何とかもう少し細かいPRができればいいかなと、こんなふうに思いました。

○委員

笠置町の田中です。当日、私も所用がありまして大会には出席できませんでしたので、大会当日の様子はわかりませんので、ご了承お願いしたいと思います。

皆さん方の意見を聞きながら、次回に向けて取り組んでいきたいというふうに思いますので、よろしくをお願いします。

○委員

私出ておりましたけども、一つ思ったのは、大型バスがそこへ入ってくると非常に狭いので、よほど考えないと、来年の大会では交通の問題が起きるんじゃないかなと、こんなことを思いました。

それから、先ほどからも出ていますが、やはり一般の参加が非常に少ないですね。というのは、これはやむを得ないんじゃないかなと。PR不足で本当にできるんかなと思ったんですけども、マイナーの競技であるし、それから、その地方に素晴らしい選手がいるということでもないし、難しいことだなと思いましたが、やっぱりもう少し一般の方が来てくれるといいかなというふうに思いました。

私も武並ですけども、あまり知った人がおらなかったのも、PRが不足してたかなと思

うけど、PRしてもあまり興味ない人は来ないしというようなことを思いましたので、またその辺は皆さんと一緒に考えてみたいと、こんなふうに。

それから、やっぱりふれあい広場というかイベントというか、あそこはちょっと場所が悪かったなというのは、正直感じましたので、次回は十分考えていただきたいなど、こんなふうに思います。

#### ○委員

三郷の藤井です。私もスケートは初日は行かなんだんですが、2日、3日目と行かせてもらって、感じたことがちょっとあります。皆さんもおっしゃるように、イベントの方々の、まあ駐車場があつて、車があつて、その下の段に売店があつて、駐車場からおりるところから見て、本当テントの先がちょこっと三角が見えるだけで、あそこで売店しとるのか、何やつとるのか、全然感じることはできませんでした。

2日目に行って、どこかにあるはずだと思って見回したら、テントのどこまでおりていたら、そこでやってみえたので、これは一般の人が見ても、あそこで物を売ってるのがわからんのではないかなと思って感じてきました。

それから私、弓道のほうで千葉のほうへ行かせていただきまして、見学をさせていただいたわけですが、やっぱり初日は雨降りでしたので、テントが通路にずっと張ってあつて、土間のほうには、ブロックでしょうね。150センチ角ぐらいのがはめこんで、だあつと通路にやつてあつたんですが、やっぱり低いところが水がつきますので、上ると水が浮いてきますな。

それで、選手の方も応援に見えますので、その上を通られる。はかまをはいて、足袋をはいて、草履はいて、そんな方がそこを通ってみえるので、もう少しああいうところの何とか勘考していただければいいかなと感じてきました。

以上です。

#### ○委員

スケートについては、先ほど皆さんから、たくさんいろんな反省というのか意見がありましたのでよいかと思いますけれども、まず一つは、ことしの国体ですか、これ、もう少しできたら細かく報告していただけるといいかなと、そんなふうに思っております。ということは、おもてなしというそんなことが出していただけるとありがたいと思っております。

もう一つは、一つといい、いろいろと東野でもお話がもんですから、今日はさせていた

だきますけども。まず子どもたちの声援ということでかなりきょうも声が上がっておりますけれども、思うに、やっぱり寒いということもあるものですから、1日やっぱり1時間半か2時間が限度でして、ピストンやっていただければ、3日間に恐らく五、六千人は来ていただけるだろうと、そんなふうに思います。ということは恵那市だけじゃなく、隣の水谷、中津川にも来ていただいて、バスをチャーターしていただければ、ピストンしていただければ、2時間交代でやれば、1時間、4回かな。そんな格好で、まだ観覧席あります。と思って私も思ったんですけども、一般の大人の方はリンクサイドでもいいかな。そんなふうに思うことで、もっとPRをしていただいて、出てきていただくという方向がありがたいと思っております。

それから、要するに私なんか素人ですので、あれだけのスピードでまあスケートの大会があるのですけれども、1万ですか。練習しておるところがあるね。あれが練習しると選手とがわからんやないかというような話があるもんですから、スピードの練習はストップするわけにもいかんから。

それと、武並の駅から会場というのは、きれいに整備されてあるところもあるんですけども、やっぱりせつかく武並の駅からおりて見えるもんですから、周囲の枯れ草とか、そういう清掃整理が必要と感じますので、武並の人はご存知でございますけれども、やっぱり恵那市の住民の皆さんにスケートがこれからどんどん発展させていただくということならば、これを機会にきれいに整備していただくという方向で考えていただければありがたいと思います。

先般、私どものライオンズで、たまたま四、五年前にジュニアスキーの世界選手権大会がありました。それから、この前も清水宏保選手が一応そういうことでやりましたけども、やっぱり夢を与えるということであれば、学生というようなそういう人だけに配慮してもらおうとよかったかなと、そんな私もちょっとPRが足らなかったかなと思って、せつかく100万も使ったんですけどもったいないなという気がいたしました。

そういうことでいろいろ申し上げたんですが、一つ、子どもたちの声援、これはすばらしいのがありました。中には学校の先生が、声を出せという指令を出していただいていたんですが、恐らく会場で子どもが来ていたということが必要と思っております。

それでは最後になりますが、今度は恵那山荘が4月1日オープンということになりますので、来年の1月にはぜひ恵那山荘も利用していただけるように、50人収容できますので、お願いいたします。

以上です。

○委員

私、聞いてまして大体皆さん方が感じたことを同じだなというふうに感じております。私もイベント広場、おもてなし広場につきましては、やはり人の流れですね。例えば、駐車場からどう歩いて人が流れてくるか。それからシャトルバスをおりてからどういう人の流れがあるかという、その流れの中に設営するということが重要ではないかなと思います。

やはりおもてなしということですので、皆さんがどういうところにおもてなしをすとか、それから特産品を販売してみえたんですけども、やはり特産品、呼びかけてやってみえたと思うんですけども、やはり閑古鳥が鳴いておるなというように感じがしておりましたので、人の流れの中に設営していただければと思っております。

それから、あと一つですけども、小学生の応援してみえましたね。私も、ちょうどゴールのところで小さな子が寒いところで非常に元気に声援してみえて、あれは選手の励みになるなと私も思っていました。

ただ、どなたかもおっしゃってみえたんですが、昼からになると、ちょうどあそこのゴールのところの観覧席が、子どもさんのあたりがちょうど日陰になっちゃいますね。丸つきり寒いところで、大きな声を出していた子どもには非常に感謝しておるんですけども、例えば観覧席を午前中はあそこは多分日が当たると思いますね。昼からになると日がかげるということですので、例えば、反対側の日の当たるようなところに設営ができないものか。お金の問題がありますので、それができないのでしたら、やっぱり子どもさんたちが一生懸命応援してみえるので、何かもう少し温かくなるような温をとるようなことを考えていただけると、子どもさんたちも一生懸命応援していますので、いいんじゃないのかなと思っております。

それから、もう一つですけども、私も最初は会場に着きまして、何をやっ取るかまわずわからなかったですね。何かのスケートリンクが練習ですかね。外で実際に競技をしていると。2人ずつ滑って、その結果がどうなるかというのを全部覚えておくわけにはいきませんので、その辺がもう少しわかるような競技内容になるといいかなとそういうふうに感じました。

以上です。

○委員

自治連合会の菱川です。ジュニアオリンピックカップという大層な名前でしたので、上

矢作から大勢の人を連れて行かないかなのかなと思っておりました。当日集まってくれたのが7名ぐらいしかいかなかったの、これはちょっと寂しいなと思いました。

やっぱり会場へ行きましたら、ここに一般500名と書いてありますが、私から見たら、スタンド側からでしたので、やっぱりPRが足らなかったのじゃないかなと思いました。私、前回のときも言ったと思いますが、もうちょっと例えばえなっこチャンネルとかで早くからPRをしていただいたほうがよかったかなと思っております。

それと、ふれあい広場ですが、場所とか、そういうのを検討していただいて設定したと思います。私は、あそこが悪かった、よかったとかいうのは思いませんが、行ってよかったのが、上矢作の人が売店でいろいろ販売してましたので、そこで出会えたのがうれしかったです。

それから、今、競技について、皆さん何をやっとなるかわからんとか言われてますが、もうちょっとスポーツを勉強したほうがいいんじゃないだろうかと。私はテレビとかでよく見ますので、その辺でわかって見ておったつもりでございます。

一番南のスケートリンクということで、もうちょっと市民の人もスケートを勉強しましょう。それで、どうもありがとうございます。

#### ○委員

明智の橋本でございます。当日はちょっと、あまりゆっくり見ておれずに失礼しちゃったんですけども、釧路の国体のほうも見させていただいてますが、今、お話がありますように、もう少し市民の皆さんにスケート競技というものについてのご理解をいただけるようにしていくといいんじゃないかな。特に、スケートでセパレーツとオープンコースとあるわけですけども、その全く違いというのなかなか理解をしていただけてないというような状況もあるものですから、弓道も含めて、弓道も見せていただきましたのですが、ルールのもう少し周知というのは必要じゃないかなというふうに思います。

それから、もう一つは例えば明智から武並に出てくるのに、道がどうであるかという心配が非常に多くありました。やっぱり冬季でございますので、滑って車でもぶついたら大変だ、あまり無理して行かんでもいいやなというような話がありまして、それはそんなわけではないとは言えんもんですから、来てもらえれば来てくださいということになりますと、どうしてもやっぱりちょっと足が遠のくかなという感じはいたしております。

いずれにしても、かなり温度差というのはあるものですから、そしたのものもどのように考えていかないとかなというふうに思います。

○市川委員長

ありがとうございました。それぞれの方々から感じ取られたことにつきましてコメントをいただきました。

お伺いしているところで若干申し上げたいんですが、この1月に行なったスケートについても、それから5月に行なう弓道大会も、実行委員会の受けとめ方としては、練習ですからリハーサルというとらえ方なんです、競技内容はきちとした競技内容があるわけですので、このリハーサルという受けとめ方は実行委員会の中、専門委員会等の中ではいいと思いますけれども、市民向けについては、これはやっぱりそれぞれの競技種目があるわけですので、そこらあたりをきちと訴えていかないと、私は実はこのリハーサル大会に行くので、リハーサルなんか行ってもしょうがないんじゃないかという話も聞きました。中身的にはこういう競技内容で、むしろ国体よりも競技内容のレベルが高いんですよという話もしながら来ていただいたケースがございますので、このリハーサルというのが会場の中で使うことであるけれども、市民向けには、正式な今度は5月は勤労者の弓道大会と、こういうことですので、そういうやっぱり正式名称でアピールをしていくということが必要なのかなと。

それから、スケートについてはやっぱり冬季スポーツですので、寒さが伴うのは当然のことですが、今、お話がありましたように、西側の鉄筋コンクリート製の観覧席は非常に大変なところだなというふうに思いますね。

特にさっき遠藤さんが話をされておりましたが、私もこの1月の八戸の冬季国体に参加をさせていただいておったわけですが、八戸で開催されたのは第1回からことしで12回。それぞれの国体の会場、スピードスケートを受け持っているという会場ということでございまして、非常に市民も競技なれをしてるということで、言われるように、市民こそってが会場に押しかけてというよりも、むしろ大会関係者を中心とした参加の仕方。合間見るところによりますと、地元の高齢者もしくは子どもさんたちが、祭日の関係で見えているのは見ましたけれども、やっぱり釧路にしましても、今の八戸にいたしましても、大会なれをしている地域ということで、恵那市のように40何年ぶりで、しかもスピードスケートが初めてなんていう取り組みじゃありませんもんですから、そういう状況であったのかなということと同時に八戸につきましては、総合運動公園の中にスケート場があるということですので、全く恵那市の立地条件が異なっております。

八戸の場合は、体育館に休憩所からバザーからおもてなしコーナーから、あるいはプレ

センターから全部一堂に会してできるわけですが、恵那市の場合は、弓道を除けば非常に臨時の設営場所で工夫をしなければならぬかなと、こんなふうに思いました。

私、きょう、県の方も来てお見えになるものですから、ぜひこの県営スケート場の施設でございますので、先ほど申し上げましたような観覧席について、むき出しではなくて、少し暖がとれるようなガラス張りの観覧席にする。これは来年の大会だと考えていけば、そんな無駄な金は使えんということになるかもしれませんが、八戸の例ではありませんが、いろいろと会場の中で恵那市がスピードスケートだけの種目を時折受け持つというぐらいの気概を持てば、その辺の先行投資はそう高いものではないんじゃないかと。

おっしゃるように、子どもたちも来ても、安心して風邪も引かずに応援ができると。声が届くかどうかは別問題ですが、そういうようなことも考えていくべきだろうと思いますし、来年の1月については、そのことは間に合わないと思しますので、大きな温風を置くようなものがあるわけですから、あれを数機やっぱり会場に設置をして、何とか自然の寒さゆえも、多少皆さんをお迎えしたというような会場、実行委員会側の配慮も必要かなと、こんなことを思っております。

若干、今のそれぞれの方がコメントされた方の中で、事務局としてここだけはお答えをするというようなことがあったらお答えをいただければいいと思いますが、どうですか。

#### ○事務局

先ほどからたくさん批判をいただきましたのが、おもてなし広場、テント村ですけれども、こちらのほうは今回JOCの大会ということで、スケート連盟さん、県の連盟さんを含めて設置場所の検討をしてみました。やむなくあそこになりましたけれども、今度の場合は、国体におきましては、もう1段上の見やすい、すぐ見える駐車場の位置等で今検討をしております。2段目の駐車場でなくスケート場の入り口に近いところへ持ってまいるようにしてまいります。

それから、あと岐阜県のほうでお願いしておりますのは、選手の控室なんですけれども、こちらはありますので仮設テントを最初計画しておりましたけれども、助成がつくということが決まっておりますので、恒久的な建物をつくっていただくということで、今、調整を進めております。一応平成23年度予算に計上されておりますので、大会までにはでき上がると思っております。

それから、競技の観戦の解説とか、そのようなものはちょっとした冊子を、観戦ガイドみたいな形で作らせていただこうというふうに思っております。そういうものはあった

ほうがわかりやすいと。ただ単に近的の場合ですと、ただ的に当たればいいというものですけれども、遠的の場合は、当たった場所の色によって得点が違うと。より中心に当たったほうが得点が高くなるというようなルールがございますので、そのあたりのものも含めて解説書を配布するような計画をしたいと思っています。

あと、冬季の大会、屋外の会場ということで非常に寒いわけがございますけれども、できる限り、本当に先ほどお話がありましたように暖房機等をできれば敢行していきたいと思えます。

あと、やはり見て初めて面白いのがわかるという方がほとんどだと思います。強いて行って観戦しようという方は、なかなかお見えにならないと思えます。ここはひとつ自治会の皆さんにお願いをいたしまして、必要であればまた郵送手段等も考慮しながら、観戦ツアーみたいなものを各自治会で組んでいただけたらと思えます。よろしくお願ひいたします。

それから、武並駅からスケート場の道路清掃というようなことですが、道路部分につきましては、ある程度こちらで面倒が見れるんですけれども、個人地等承諾が非常に難しいかなと思えますけれども、地元の武並町さんと協力しながら、何とかきれいな道路で来ていただけるようにしたいと思えます。

スケート場のほうである程度清掃はさせていただくと聞いていますけれども、確かに線路の周辺なんかはひどいような状況になってますので、もう少し美しくしたいと思えます。

あと、弓道場の雨天対策等につきましては、水はけ等が仮設の排水口とか設置を考えなければならぬのかなと思っております。天気の前報にもよりますけれども、そのときに急遽やろうというようなことになろうかと思えますが、よろしくお願ひいたします。

以上です。

○市川委員長

一応、皆様方のコメントに対して、今当面応えるということで、事務局のほうからお答えがありましたが、6月に向けて、また来年の本体会に向けて、準備の中で精査をいただいて、その間に開かれる委員会等もございますので、報告いただく中で、さらに皆様方のほうからの肉づけをしていただくということで、この点につきましてはこれで終わりとさせていただきます。

それでは、協議2項の58回全日本勤労者弓道選手権大会についてご説明をお願いします。

○委員

私のほうから説明をさせていただきます。

まず、最初は議題に沿って説明いたしますが、今の状況ですので、全日本弓道連盟の今のいろんな考え方とか、今における状況ですね。ちょっと後から説明したいと思っております。

お手元の9ページのところがございます。表題、第58回全日本勤労者弓道選手権大会についてということで、下に、ぎふ清流国体弓道競技リハーサル大会というのが載っております。

先ほど来、議長さんからお話ございました。今、中公民館の体育館のところに横幕が一つ載っております。これにつきましては、国体リハーサル大会という文言が載っておりますけれども、準備しております横幕につきましては、リハーサル大会というのを省きまして、歓迎、よく恵那市へいらっしゃいましたというような意味の言葉にかえさせて今、作成しております。ということでご了承いただきたいと思っております。

1番からご説明いたします。1番につきましては、主催は財団法人全日本弓道連盟、恵那市、恵那市教育委員会、ぎふ清流国体恵那市実効委員会が主催団体でございます。

2番の主管は、岐阜県弓道連盟が行います。

3番後援は、岐阜県、岐阜県教育委員会、ぎふ清流国体・ぎふ清流大会実行委員会、財団法人岐阜県体育協会、財団法人恵那市体育連盟、財団法人日本武道館、日本武道協議会。

4番の期日でございます。これは、競技のみの期日になっております。平成23年6月4日土曜日、5日の日曜日が協議の開催になります。要は、この日はちょうど休会になるわけですので、あとはそれぞれの周知のほうに頼らなければならないと。

それから、5番の場所、恵那市まきがね公園体育館特設弓道場ということで、弓道の全国大会レベルの大会ですと、今の弓道場では手狭でございますので、京都から室内用の特別な競技施設を持ってまいります。それを5月の中旬までに設置しまして、こちらで実施をいたします。

6番の日程でございます。先ほどお話しいたしましたように、前日6月3日の金曜日に審判会議、監督会議、そして開会式をこのような時間帯をもって行います。それから協議のほうでございますが、6月4日の土曜日に矢渡しとなっております。矢渡しというのは、野球で言う始球式のようなものでございまして、最初に対応した者が3名でまず矢を2本持って始球式の要領で行います。そして、予選会を行いまして、6月5日に移るわけです。

6月5日は、すべてここで決勝トーナメントから決勝、そして閉会式までを行います。

概要でございますけれども、参加するのは、全国の官公庁、企業、事業所等に勤務する者で構成し、各都道府県から2チームずつ選抜されたチームが参加いたします。大体、…によりますと約85チーム前後ということで参加するケースが多いということになっております。1チームのチーム人数は3人です。これに監督が1人つく場合と、3人のうちで監督が一人兼ねる場合がございますので、参加の大会によっては、参加チームの人数が多少上下いたします。

協議は、近的競技、近似的の競技と書きまして、選手が立っているところからのまでの距離が28メートルあります。的の大きさは36センチでございます。1チームは3人ですが、これを2チーム一緒に立って、2チームと一緒に競技を行います。

それから8番のほうで歴代の優勝チームが第48回から前年の57回の山口大会まで、そこに書いてございます。

続けて、次のページに会場の案内図が載っております。形でご説明をしましてまいりましたけれども、要点だけちょっと説明したいと思っております。

先ほど来、スケート大会のときにテント村のところ、ちょっと問題になっておりました。という意見が多かったと思います。これは事前に現地でも聞いてまいりましたし、機会ごとにいろんな意見を頂戴してまいりましたので、恵那市の実行委員会事務局ともいろんな相談をいたしまして、どういった場所がいいかなということで考えてまいりました。

物理的に言いますと玄関のあたりが一番いいのでございますが、それはちょっと面積の面で難しいかなということでしたので、工事のときにここでいいますと、右のほうに臨時出入り口改修といったところで、点線で丸がついたところがございます。そこが大体道路面と同じ高さになりまして、この運動場に入れるような形になりますので、ここからシャトルバス、あるいは代替乗車場、一般の方の駐車場をこれも設けて、こちらから下の多目的広場のテント広場、黄色い色で分けてありますけど28番のところですね。こちらのほうへ入っていただいて、それから競技会場のほうへ移っていただけるような動線を考えてみたいというふうに考えております。国体のときには、今の多目的広場を全部競技会場として使いますので、これは玄関のほう、そして多目的広場については、このままの状態で行くのがベストかなというふうに考えてますけれども、一応勤労者の今回の弓道の大会につきましては、この多目的広場のほうを有効に使って、一般のなにのほうが会場…ごとに使っていただけることが、大会の一つの力になるかなと思っております。

それから、依頼ではございませんけども、選手の11日の日の災害から、実は私ども本部が、東京都の渋谷区の神南というところにありまして、人口も非常に多いところがございます。当日の事務局の人たちも、次の日も午前中ぐらいに帰った方が何名かおいでなので、連絡が途絶えまして、実はこの大会についてもどうするかというような……をしております。ただ、直近の大会につきましては、とりあえず全国の高校選抜大会が九州のほうで予定されてましたけど今回中止しました。続きまして、3月27日に国際大会が宮崎で行われるわけでしたけれども、これも中止にしました。しかし4月以降の大会につきましては、京都大会も1万人ぐらいの大会がございますけれども、これにつきましても、今、実施の方向ではおります。勤労者大会についても検討するというので、昨日からまだ結果が出てないということで、きょうまだ持ち越しになっておりますけど、また連絡が来ると思いますが、恐らく何らかの方向性を持って開催するというふうなことになるかと思えます。

どちらにしましても、我々と今回の大会の参加チームというのが、やはり7番の概要に書いてありますように、官公庁、企業、事業所等が多いわけです。一般あたりですけど、今の災害を受けられた地域の参加は恐らく、もしかしたらないんじゃないかというふうに考えております。それに合わせまして、今、非常に日本が狭くなっているといえますか、グローバルな社会ですので、今、トヨタ自工や、きょうも仕事を休んでいるところも多いようです。恵那市でも関連の一定の企業につきましては休んでおります。

こういった形が、例えば一月、二月後、こういった形で影響が出てくるかということも懸念されますので、もしかしたら参加チームが少ない中でも開催するということですので、こういったときの周知、そして大会の開催ということも、ある程度念頭に置いて進みたいというふうに考えていますので、ちょっと非常に緊張した気持ちで準備を進めておるところです。議題から少し外れましたけれども、そういった状況がありますので。

○市川委員長

今、太田さんのほうから、弓道大会につきましてはの内容について報告がありましたが、これにつきまして各委員の皆さん方のほうからご質問ございますか。

多少、大震災の関係で、企業的な活動だとか、選手の派遣等についてまだ流動的であるけれども、6月は多少規模が小さくなくても実施をされるという前提の中で事務局は準備をしていたということになろうかと思えますが、この協議事項についてはよろしゅうございますか。

それでは、協議につきまして、3番目の問題で、平成23年度の主な事業計画について、事務局をお願いします。

#### ○事務局

それでは、資料の11ページのほうをごらんください。

協議3、平成23年度の主な事業計画について、ご説明させていただきます。

まず平成23年4月1日ですが、大きな動きとしましては、ぎふ清流国体恵那市推進本部が設置されます。これは中公民館の2階、現在の第3会議室の場所に事務所移転をいたします。ですので、ここを本拠地としまして国体の展開をすることになります。

また、すぐ2カ月後には、ただいま協議2のほうでもご説明させていただいた勤労者の選手権大会。これすみません。資料のほうはリハーサル会議の中ということでご了承くださいと思います。この大会のときには、せんだってのスケートの大会のときにもお願いしましたように、見学者の動員ですとか、地域でお店を出していただいたり、またふるまい汁、それからミニステージ、応援旗の作成、また花の植えつけ、また、今回新しくお願いしていかなければならないのが開会式での盛り上げということに関して、また各地域の方々にもお願いをしていく、また学校にもお願いを出していくというような形になりますので、その際にご協力をお願いしたいと思います。

また、7月ごろになりますけど、実行委員会の総会を実施したいと思います。昨年も弓道の演舞ですとかスケートの練習の様子、太鼓での盛り上げ、スポーツ少年団でのエールなどなどいろいろやってまいりましたが、ちょうど今回の国体というのが、県で推進していますちょうど国体の約1年前になるということでの、市民総参加のイベントにしていく必要があるということで、もちろんこれ、見学者動員ということで、参加者動員ですね。それからイベントとしての盛り上がりをつくっていく。これをどのように恵那市としてつくっていくかというのが、やはり恵那市の盛り上がりのキーになるのではないかというイベントになってくると思いますので、皆さんのお力を集結してこの7月の総会をつくっていきたいなと思っております。

また、10月には山口国体が開催される予定であります。視察につきましては、大分皆さんにも行っていただきましたので、どのような形になるかはわかりませんが、一応イベントとして開催されます。

そして、12月には冬季国体に向けての周辺環境整備。先ほど景観の問題も出て、ご意見としていただきましたので、そういうことも含めて12月にはしっかりと準備をスター

トし、実施をし、翌年に入りまして1月28日からは、いよいよスピードスケート本国体ということで、また次の…でお願いをさせていただくことになると思いますけど、本国体におきましては、各地域からお店を出してもらような希望をとるのではなく、13地域のブースをもう設置してしまい、全地域に参加していただくような、そういった盛り上げが必要ではないかと考えまして、この四角の中の欄には書かせていただいております。

また、下に米印で炬火についての検討ということがありますが、県全体で本国体の本大会の秋の大会のほうになりますけれど、県全体から皆さんで火をおこしていただいて、それを集結させる。それが炬火をするということになります。恵那市としてどのような火を、恐らくですが東野で集めて、東野のものを県に持っていくという流れになると思いますが、恵那市としての火をどうするかということで、各地域でおこしてもらったものを13地域で集めて一つにすると、どういうふうにやっていくのか。これの検討を進めていくのであります。

また、次のページ12ページのほうをごらにいただきたいと思います。

それまでにPRのほうもどんどん進めていきたいと思いますが、いろいろPR方法がある中で、各地域のイベント、恵那市のイベントの中でのPRということに一つ着目しております。

国体関連事業については弓道の大会、スケートの大会。そして13地域のイベントにつきましては、日づけにつきましては、これはあくまで前年度の実績に基づく次年度の想定ということでの計画であります。これは事務局のほうで選定をさせていただいて、県のキャラバン隊のほうの日程を押さえるために、とりあえず組んだものであります。

来年度がPRの一番の要になる年だということで、県内でも恐らくこういったチームの要請、そして着ぐるみの貸し出しについて、かなり強い要望が上がってくるだろうという想定のもと、早めに確保する必要がありました。ですので、恐らくここにこんなことがあるだろうということで今、入れさせていただいておりますので、皆さんの地域で持ち帰っていただきまして、こういうことが実施可能かどうか。また地域全体でこれをやっていけるかご検討いただきまして、事務局とあわせて実施していきたいと思っております。

また、長島のほうですけど、長島町大変広く、長島町全体のイベントがないということ伺いまして、これにつきましては今未定の状態でありますので、どのように展開したらいいのか、またお教えいただきたいなと思っております。

また、紹介までですが、県のほうに強い要望をさせていただきまして、恵那事務所のほ

うに恵那の着ぐるみが1体入るようです。これは、本当でいうと県1体であり、よその地区は一体のままなんですけど、恵那事務所のほうで大変頑張ってくださいまして、東野だけ2体ということになりまして、恵那に入りますので、皆さんでまた活用し盛り上げていきたいと思っております。

また、そのほかの事業計画につきましては、別添で配布させていただいております、この委員会ができて第1弾でつくりました総務・広報・市民運動の事業計画、これに基づいて事業のほうを展開をさらに進めていくこととなりますのでよろしくお願いいたします。

以上です。

#### ○市川委員長

今の事務局のほうから、協議3につきまして説明がございました。ご意見をいただく部分があるかと思いますが、まずこの4月1日に恵那市の行政組織が一部改正をされまして、ただいまのところ実行委員会に対応していただいている事務局は、教育委員会のほうに入っているわけですが、4月1日以降からは、市長部局というふうに所管が変わりまして、今、何か公民館がまた名称が変わるというふうにコミセンというようになってるんですが、その2階に事務局が移動するということで、本格的な事務を遂行していただくわけですが、そのことについてのご承知おきと、それからその間におきますスケジュールについて、まずご質問があればしていただくということ。

それから、言ってみれば聖火のお話ですけれども、どういう火のとり方をして行っていくか。例えば市の場合は代表的にやるのか、13地域全体でやったものを市が集約をするのかというようなことで、国体に送るということになるわけですが、それと合わせてPRの関係の各地区の催し物については、昨年1年間行なったことを前提として、日程的にこの辺になるということ事務局が想定をして上げてあるようでございますので、この3点についてご意見、ご質問ございましたら出していただきたいと思っております。どうですか。

#### ○委員

13番の地域イベントキャラバン隊確定事項の10月16日三郷町の運動会とありますが、この運動会というのはどういう格好でやるのか。

#### ○事務局

これは、まだ実施の方向につきましては、各地域との相談になります。これは、キャラバン隊の派遣がこの日にしていただけるということで、県のほうで確定をもらっておるものです。

○委員

今年度、三郷は運動会は中止になっておりますので、来ていただいても何もありませんけど。

○事務局

それは、事務局のほうで想定を間違えましたので、またそれにかわる三郷のイベントがございましたら、それに変わっていきたくと思いますのでご指導をよろしくお願いいたします。

○市川委員長

ほかございませんか。はい、遠藤さん。

○遠藤です。

東野ですが、さっきも今も三郷さんが言われたように、私ども11月上旬の文化祭については、あんまり人が来ないので、これだと6、7、8人にいつも来るので、やっぱりこんなふうに思います。

それから弓道ですけども、私は見たことはあるけどもやったこともないし、子どもたち見ても夢を与えるような感じがするかわからということなんですけれども、そういうことですが。

○市川委員長

ほかございませんか。今、幾つかの12ページの各地区の行事については、昨年行われていたものをその直近の日にちと曜日に合わせてつくってみたと。そのように実施がされるのか、あるいは日にちが変更されるのか、今後あるわけですが、一応各地区でおおむねこのようなものがあるぞということが確定をしていただければ、また事務局のほうに報告をお願いしたいということ。それに合わせて、事務局ではデモンストレーションをやるということにしたいと思います。

先ほど米印の部分の炬火についてという。オリンピックだったらギリシャのところで、こう聖火をとってオリンピックの開催のところまで……だとかいろいろやりますね。それの岐阜県版ということですので、恵那市は13地域ございますので13地域でこういう火のおこし方をするのかしないのか。それとも、1カ所で代表的に決めたらどうなのか。二つ方法があると思いますが、全体的に皆さん方がこの2つの種目を合わせて、岐阜県全体の国体に参加をするという意味でいけば、13地域それぞれが何か考えていただくのいいのかなど。13地域といっても、大井を除けばまたさらにそれぞれの立場が5つの分野

があるとか。笠置は3つの分野があるというようなこともあります。それはその地域の中にお任せするというにいたしまして、13地域それぞれでこの行為をするのかしないのか、まずそのことからちょっと方向づけをいただきたいと思いますが、どうでしょうか。

○委員

このキャラバン隊はどんなような形でやられるのか、ちょっとご説明いただけますか。

○事務局

キャラバン隊のほうの説明をさせていただきますが、県のほうにチームをつくっていただきまして、これはイベント会社に県のほうから委託をしていただいております。ですので、皆さんイベントのプロです。着ぐるみに入ってくださいの方が約1名、そしてダンスも体操もできるお姉さんが4名ほどで派遣していただきます。この方々はこちらからの依頼に対して、大体柔軟に対応していただけます。

ですので、地域でこんなことがやりたいのでこんなふうに協力してくださいと言えば、どんなふうにでも動いてくださる方ですので、またちょっとしたプレゼントも持ってきてくださいというようなわがままも若干聞いていただけますので、使い方は自由です。

○市川委員長

企画から質問が出たわけですので、13地域のまず火のとり方について、結論をとりあえず出していただきたいのですが、いかがですか。はい、どうぞ三宅さん。

○委員

13地域からそれぞれがだれか担当して大変なこともあるものですから、例えば恵那市の南北でやって真ん中へ寄せて、それぞれの地区へ持って回って寄せるというようなことなら、まだやりやすいかなとは思いますが。

○市川委員長

三宅さんのほうからは、恵南の地区、あるいは地区でやったものを中央へ持ってくると、こういう提案も出ましたが、そのほかでご提案、何かありますか。はい、どうぞ。

○委員

今のイメージなんですけど、どんな格好のイメージをやりたいのですか。やるイベントのイメージなんですけど、こんなイメージがあればあれば。

○市川委員長

想定されるイメージをちょっと。ありますか。

## ○事務局

私のイメージになってしまうかもしれないんですが、例えばある地域は、こんな感じで火おこしをして火をとって持って行くと。それからある地域は、どこかの神社でちゃんと祓ってもらった火を持ってくると。それをいろんな地域で考えてもらって、皆さんがその火をおこすことに関して参加してもらおうというようなことで、各地域で火をおこすことでの盛り上がりをしてもらって、それを全体を集約して一つにするというようなイメージを持っております。

その地域がどんな感じなのかなということはまだ具体的ではないですけど、イメージはそんなものです。

## ○市川委員長

一担当者としてのイメージということで発表されましたが、それは皆様方もその連想していただく中だと思いますが、きょうのところで具体的に時間の問題もございますので、提案だけさせていただいて、このやり方については別途また相談をさせていただく中で、方法論を考えていくということにしたいと思いますが、よろしゅうございますが。

(「異議なし」の声あり)

## ○市川委員長

では、そうさせていただきますので、事務局その辺のところを十分心得ていただきたい。それでは協議3につきましては終わらせていただいているですか。

それでは、協議4につきましては、国体の参加についての、参加を促すためにはということで、余り時間的にございませんので。一番大事なことは既に協議事項の中で出ておりますように、今の協議3の中でも既に上げられておりますが、各それぞれのおもてなしや、地域の味の出店だとか、あるいはそれに伴った地域の清掃活動だとか、いろんな取り組みがあります。そのことを通じながら、これは少人数でできることではありませんので、そうしたものをより多く参加を求めていきつつ、あわせて対外にも見学を含めて参加をしていただくというようなことになるのかなということが第一で、今まで取り組んでこられましたPRについては、くどいようだけどもさらに取り組んでいただくということ。

それから、この中でもう一つ必要なことは、ボランティアについて募集をされました。これで十分かと言えそうですというふうに思いますので、ボランティアについては引き続き各地域で取り組む中で、それぞれの大会に参加をしていくということを求めていくということが必要ではないかなというふうに思いますので、この項については、事務局と

してはこれだけ空白をとったということは、一人一人からさらにコメントをとれということかなというように推察するわけですが、少しこれ時間がないものですから、委員長として今申し上げたようなことをさらに進化させていただくということで、こちらはまた別途いろいろな意見を集約していくということをお願いしたいと思いますが、よろしゅうございますか。

(「異議なし」の声あり)

○市川委員長

それでは、協議事項第5に入ります。事務局お願いします。

○事務局

それでは、協議5、14ページの事項につきましてご説明をさせていただきます。

こちらにつきましては、前回の専門委員会で大体決めるべき要綱等につきましては決めさせていただきました。今後決めていくものにつきましては、もっと細かいところですが、基本方針、次に関しては規程とか、そういった細かい部分について定めていただきます。

今回につきましては、役員に対する費用弁償等について規程のほうの提案をさせていただきます。これは、本大会及びリハーサル大会について、従事者に対する費用弁償の額及び謝礼等の額並びにその支給方法の適正化を図るために定める事項であります。

支給対象者としましては、競技役員、それから競技補助員及び引率者。これは、役員というのはもちろん各競技団体の方が想定です。競技補助員は競技団体にかかわる高校生ボランティア等を想像していただければいいと思います。また、引率者というのは先生というようなイメージで見てください。また、大会補助員。これは大会補助員というのはボランティアをイメージしてください。及び引率者。保護者の方ですね。それから、4番として医師及び看護師。

支給する額等につきましては、競技役員には日当、交通費、宿泊費を支給すると。それから競技補助員及び引率者には、日当、交通費を支給する。ただし、中学生、高校生については、従事日数にかかわらず日当にかえて記念品を支給することができると。絶対記念品というわけでもないですけど、好ましい場合は、そちらでかえるということです。また、医師及び看護師については、謝金を支給する。日当及び宿泊費については、県の定める補助金交付要綱に準じ支給します。また、交通費及び謝金については、市の取り扱いに準じます。支給方法は直接支給を原則としますが、競技役員については、競技団体へ一括支給という方法もとっていきます。

こちらが費用弁償等に関する規程の案でございますのでご審議をお願いいたします。

○市川委員長

費用弁償に関する規程の案が、今、事務局から説明がされました。支給対象及び支給額等について具体的に述べられておりますが、これにつきまして質問、意見はございませんか。

○委員

ボランティアということは、私どももボランティアでいいわけですね。今、いわゆる職員の方もボランティアになっちゃうんですか。いつも気の毒やなと思うんですが、実際、一生懸命頑張ってボランティア別かなと思う。そういうふうにとらえたほうがいいんですか。こういうものはどんなものでしょうか。

○市川委員長

今、支給対象者の枠組みの話だろうと思いますが、4までの対象者は当然支給対象と。ボランティアはどうなっているのかということだろうと思いますが、その辺はどうですか。

○事務局

一般の市民ボランティアの募集についてですが、別途ボランティアの募集要綱で定めさせていただいておりますが、ごめんなさい、大会補助費で一般ボランティアをなかなかイメージしてしまいますが、一般のボランティアにつきましては費用弁償はなしということで前回うたわせていただき、決議をいただいておりますのでよろしくお願いします。

○委員

それから、職員の方のボランティア。

○市川委員長

職員の方はどうかと。

○事務局

市の職員につきましては、土・日・祝日は代休扱いをさせていただいております。

○市川委員長

よろしいですか。祭日は休日ですので、そこに出勤した場合は代休で勤務整理をすると、こういうことです。ほか質問ございませんか。はい、どうぞ。

○委員

これは、恵那市だけどうのこのじゃなくして、他の都市の競技も一緒になるということ。だから前提に沿ってるわけですよ。だからここで、恵那市だけがころころ変えるわけ

にいかんでしょう。そういうことで。

○委員

多分そうだと思います。他の競技会場の関係もあるし、過去の国体の前例もあるから恵那市だけでころころ変えるというわけにはいかんと思うんですよ。だから、その話をしなければ簡単でいいんじゃないかと思います。

○市川委員長

ということだそうですので、事務局は答弁要りません。ほかございませんか。競技5につきましては終わってよろしいですか。

本日、予定をされておりました報告事項と協議事項につきましては終わりましたが、私のほうからちょっとお願いなんですけれども、この3月いっぱいをもって専門委員会のメンバーの方も自治連とか地域協議会につきましては、任期の関係でおかわりになる方もあるかと思います。ぜひ、きょうの決定事項につきましては、交代をされる委員に十分お伝えをいただいて、スムーズにこの事柄が進んでいくように一步配慮を願いたいと思います。

また、自治連、地域協議会以外の関係者におかれましても、そういうことがあるとすれば、ぜひその点についてのお引き継ぎをお願いしたいと思います。

きょうは行政側からは担当責任部長である部長がお見えになっておりませんが、当然職員においても3月いっぱいをもって部署の変更もあるかもしれません。ただ心配をするのは、担当部局でありますを中心として、今度は市町部局でこの仕事に当たってもらうわけですが、職員の異動は私はないというふうに思っておりますが、そういう職員が異動してしまったのでは、これはまた国体を迎えるに当たっての本気度の問題がどうなのかなと思いますので、その辺についてはお聞きしたほうがよかったわけですが、見るところ発言をされるのが…人ですので、たまたま議会から総務文教委員長出席でございますから、ちょっとその辺については懸念をするところですので、大会の行政側の体制が引き続きやっていけるような形をとっていただくことが、この委員会としては大事かなというふうに思っていますので、老婆心ながら、余分な心配をして申し上げましたけれども、そんなことをひとつご配慮いただきたいと、こんなことを思っております。

それでは、閉会のあいさつは副委員長の山崎さんのほうからお願いします。

## 6. 閉会

○山崎副委員長

今日はいろいろ話し合っただきありがとうございます。

先ほどから小中学校の一生懸命声援をしたという話を聞いてうれしいなというふうに思っています。既に、来年度、さらい年度の動員計画まで小中学校は全校つくっておるわけですが、全員行けるといいわけですが、車の移動云々で人数が制限されてくるところがあります。それから貴重な時間に子どもたちが来るわけですので、せっかく来るなら弓道でもスケートでも、少し前に学校に来てもらって説明していただくなり、そういう予備知識があって行けると、見る目が違ってきて、より興味を持って見れるかなというように思いました。来年度になったら弓道連盟とかスケート連盟のほうに話をして、少し事前にそれを、見方なんかを教えてもらえると、より興味を持って見れるんじゃないかなと思いますので、よろしくをお願いします。

特に弓道については、これは静かにしておらんらんので、今のところ中学生になりますが、中学生も静かにしておかなきゃいかんという点もありますが、静かにしたらええという、その指導だけで弓道見ちゃ弓道に失礼だし、子どもたちで高校行って弓道やりたい子もおるかもしれませんので、そこら辺、特に中学校の自主的な参加も、弓道見に行くなら静かにしてこい！と、それだけじゃまずいので、そこら辺貴重な時間いろいろ見ていくわけですので、また連携をとって教えていただけるとありがたいと思います。

勝手なことを言いましたが、国体が無事うまくいくように願って、第5回総務・広報・市民運動専門委員会を終わらせていただきます。

ありがとうございました。